

# 三島市長選 立候補者アンケート

任期満了に伴う三島市長選は、18日に投開票が行われる。選挙戦を繰り広げる新人の近藤正文氏(46)、現職の豊岡武士氏(79)、新人の石井真人氏(43)に政策や主張を聞いた。



無新 43歳

石井 真人氏



無現③ 79歳

豊岡 武士氏



無新 46歳

近藤 正文氏

三島駅周辺は東部の拠点として整備すべきです。再開発は、県からの要請事項の確認と事業経過を検証し、広域健康医療拠点への導入機能等、市民利益の観点から各団体との協議、市民説明と意見交換の場を設けます。

魅力と活力あふれる三島駅南口を創り、三島の継続的発展に結ぶ重要な事業。再開発組合の認可を受けたのでスケジュールに沿って地下水対策も万全に行い、健康医療拠点の実現のため責任をもって全力で取り組む。

20年前の計画は時代錯誤であり愚か。市場価格より安値で市民の財産を売り渡し、駐車場だけの運営を行うような案には賛成できない。用地があり交通弱者でも行ける駅前には市役所や保育ステーションには良い。

◆三島駅南口再開発事業の方針と理由

本庁舎は街中に中心市街地活性化の拠点としてスリムに整備し、各地域の文化プラザとネットワークで結び、錦田公民館は文化プラザとして建て替えます。地域巡回お出かけ市役所号を運行し身近なサービスを提供します。

建設場所や機能など市民の意見を反映しつつ新庁舎建設を推進する。分散している現庁舎を集約、防災力強化とDXを活用しコンパクトな庁舎を目指し、市民に便利で迅速的確なサービスを提供できる市役所とする。

利益を生まない、市民の憩いの場でもない市役所にお金を使わない。駅前開発するなら駐車場の上下に進る、もしくは空き店舗や空き家を活用する。多額の費用を新庁舎建設に使うのではなく市民のために使うべき。

◆市役所新庁舎の建設場所、イメージは

働き方改革を進め、IT関連や雇用創出企業等の誘致を積極的に進めます。地元の農業・工業・商業への事業支援や継承のサポート、創業支援、リノベーションによる街づくりの促進と各分野の人材育成に投資を図ります。

大場地区の土地利用などを推進し雇用の場を確保。中小企業のDX活用による経営革新と女性などの起業を支援し新産業を創出。観光・農産物のブランド化、街中のにぎわい創出で飲食店などが移る街づくりを進める。

子ども18歳まで医療費無料に加え、ママもパパも医療費無料にすることで若者が増え、地元企業も活性化し市の税収もアップ。小規模な個人店舗をライセンス制にし保護。あきんどクーポン永年発行。

◆地域経済の活性化策は

大切な地域資源である自然・水辺環境を守り、IT技術を駆使し生活の利便性向上と健康医療が充実し、全ての市民が魅力的な住環境を実感でき、若者も高齢者も躍動する世代間交流の盛んな街を目指します。

自動運転技術が高齢者の外出を支え、美しく品格ある街にしたい、買い物客などをもてなしおいしい食を楽しみ笑顔あふれる街。産業活動が活発に行われ、子供たちが希望を持てる街となっている。

子育てに優しい街三島を定着させることで行政サービスが充実した好循環都市へ。地域医療を充実させ、コロナ禍の時代でも安心して暮らせる、子どもたちが帰ってくる誇れる街に。

◆20年後の三島市はどんな街になっていると思いますか